

明日に向かって!



7月で退職します。お世話になりました。植松 律代

私の故郷は岩手県一関市です。先日岩手県平泉町が世界遺産に登録され、震災の復興に向けて明るいニュースとして大変うれしく思っています。平泉中尊寺・金色堂へは「月見坂」を上り辿りつきますが、復興の道のりも一步一步坂を上る様に着実に進む事を願っています。「月見坂」の中腹から望む北上川の景色は絶景! おすすめポイントです。

歴史は長い日々の積み重ねでできるものですが、交流センターで勤務した3年間を振り返ると、日々の皆様の活動が歴史になっていくのを感じます。年々増え続ける利用者の数、会議室を始め市民活動スペースで活発に議論する市民の姿、ランチタイムには喫茶コーナーが賑わいをみせます。またプレイルームで遊ぶ子どもたちの成長を見る事もできます。大きくなってここに来た事、覚えていてくれるかな?…と独り言。プールも人気のひとつ、「健康管理ができて助かっているよ! ありがとう!」「きれいなプールで気持ちいいわね!」等々、嬉しい言葉をいただき感激。

受付にいると色々な方が声をかけてくれます。「何か始めたいけど、教えてください」と生涯学習に意欲満々の方、私も何か始めようかなと影響を受ける事もしばしばです。時には、ご指摘やご意見に利用者の立場になって考えなければいけないと反省する事も沢山ありました。ここでは、人々のやさしさ暖かさを感じる事ができ、逗子のまちが益々好きになりました。

これからも、明日へ未来へと歩き続ける交流センターを宜しくお願いします。ここからあなたの「一歩」・歴史の「一歩」が始まるかもしれませんよ!



交流センター 利用案内 その8

センスが生きる!? 印刷室

市民活動スペース奥、なかなか人気の印刷室。4色刷りも可能なスグレモノ印刷機。ちなみにこの「センター通信」はこの印刷機の作品です。



☆印刷機  
原版1枚につき  
基本料金...100円  
加算料金...印刷枚数500枚ごとに50円



☆ラミネートパウチ  
ラミネートフィルムはご持参ください。



☆紙折り機

☆紙折機

8月 フールセンターカレンダー

※節電のため、7月から9月までの開館時間は、9時~21時です。

		プール専用使用コース数	交流センター	
日	曜日	10~12時	13~15時	会議室関連
1	月		2コース	9月分予約抽選会
2	火	休館日		
3	水			9月分先着順申込
4	木		2コース	
5	金			
6	土		2コース	
7	日			
8	月		2コース	
9	火			
10	水			
11	木			
12	金			
13	土			
14	日			
15	月		2コース	
16	火	休館日		
17	水			
18	木		2コース	
19	金			
20	土		2コース	
21	日			
22	月		2コース	
23	火			10月分事前予約受
24	水			
25	木		2コース	
26	金			
27	土		2コース	
28	日			
29	月		2コース	
30	火			
31	水			
9/1	木		2コース	10月分予約抽選会
2	金			
3	土		2コース	10月分先着順申込
4	日			

- ・専用使用がある時間は、3コースのみの使用となります。
- ・小学校3年生以下は、保護者などの付添が必要です。(付添一人につき2人まで)



第6回子どもフェスティバル

親子で「元気になろう!」

皆さん、こんにちは。今年も8月4日~7日の間、「第6回子どもフェスティバル」を開催します。今年のテーマは「元気になろう!」です。元気いっぱいの楽しいイベントをたくさん用意しています。「子どもフェスティバル」は、大人と子どもと一緒に創っていくイベントです。

今年は特に交流センター前の芝生の広場(フェスティバルパーク)でのイベントが盛りだくさんです。造形遊びやソーラークッカーでの料理、太鼓や地域で活動する音楽グループのコンサート、ダンボールアートやブラジルのダンス、夜には逗子小学校の校舎をスクリーンに見立てた壮大な映像ショー等、さまざまなイベントが行われます。さらに、逗子小学校の体育館では、逗子高校の学生さんたちが、地域の子どものために楽しいゲーム等も企画してくれています。その他プラザホールや交流センターでもたくさんのイベントがあります。みんな子どもたちの笑顔のためにがんばっています。先日、交流センターの職員の方に「また、子どもフェスティバルの季節が来ましたね」と声をかけられました。このような温かい声に励まされながらがんばっています。「子どもフェスティバル」に関わっているみんなのエネルギーで、元気になれる気がします。電力は不足していますが、「子どもフェスティバル」に来て元気パワーを充電してください。



「第6回子どもフェスティバル」実行委員長 村川真理子

逗子文化プラザ

市民交流センター

〒249-0006 神奈川県逗子市逗子 4-2-11  
TEL 046-872-3001  
FAX 046-872-3003  
kouryu@city.zushi.kanagawa.jp

フクシマで夢を語る

先日、福島へ行き、温泉で向こうの友人と話をしました。今回の原発事故で、福島という地名がカタカナになった。日本の地名でカタカナで語られるのは、ヒロシマ、ナガサキ、オキナワの3つ。そこに「フクシマ」が加わった。フクシマの人々は今、否応なしに時代の最前線、世界の最前線に立たされている。

カタカナになった「フクシマ」が、「チェルノブイリ」のように、もっぱら悲劇の代名詞として語られるのか、ヒロシマ、ナガサキのように、過去の悲しみを乗り越え、世界へ向けてメッセージを発信する拠点となるか。今、それが問われている。

「福島で、未来を語るワークショップをやりたいね」「福島でやるなら、こういう温泉宿を会場にするといいかも」「みんな浴衣着てね」「露天風呂で話すとか」「エライ人もそうでない人も、みんな一緒に裸の付き合い」「facebookで呼びかけたら、フクシマの議論に参加したいといって外国から来る人もいるかも」「福島出身の有名人にも参加してもらいたいね」「西田敏行とか」「いいね」「山形のドキュメンタリー映画祭みたいで、世界中から人が集まるワークショップが、福島的一大イベントとして定着するといいなあ」「これ、スポンサーつくんじゃない」「助成金もらえるよ」...

福島で未来を語るプロジェクト、本当に実現するといったと思います。

市民協働コーディネーター 木下理仁



ボランティアセンター

子育てROOM陽だまり

社協では子育て支援事業として、未就園児と子育て中のパパ・ママのためのフリースペース「子育てROOM陽だまり」を開いています。スタッフは子育ての先輩ボランティアが中心です。子どもたちは自由遊びなどのプログラムを楽しみ、ママたちはおしゃべりでストレス解消♪ 予約不要の自由な雰囲気、毎回約20組の親子が集まっています。ぜひ一度遊びに来てくださいね。



対象: 未就園児とその保護者  
内容: 自由あそび(おもちゃ、お絵かき、折り紙があるよ! )、親子体操、歌、絵本・紙芝居、お誕生会  
日時: 月1回月曜日 10:00~11:30 予約不要  
(開催日は、「広報ずし」「社協広報紙さくら貝」「社協HP」をご覧ください)  
場所: 逗子市保健センター2階プレイルーム

開設日・時間:  
月曜日~金曜日 9時~17時  
(交流センター休館日・祝日は除く)

連絡先:  
電話 046-873-8037  
FAX 046-872-2519  
Eメール vc@zushi-shakyo.com





小学校6年生までの子どもたちとその親が自然の中で  
のびのびと遊ぶことを目的とした会

# あそび発信基地

まごは  
ジャングル?



ブランコづくりも  
子どもの仕事!



大人気!  
大木にロープの  
ブランコ♪

草むらも  
へっちゃらだよ!

どーも  
子ども番長です



今日のおやつは、  
りんごとバナナ!  
カブやにんじん、レタスに  
お塩をかけて食べたり、  
五平餅や、ロールパンを  
作ることもあるよ!

おやつ  
の  
時間!



こ

こでは4つのグループにわかれて、交代で世話役  
(番長さんと呼んでいます)が、前日からおやつ  
の買出しなどを行います。親子ではないグループだ  
ったり、新人とベテランとで活動することにより、  
地域の大人とのふれあいを大切にしています。



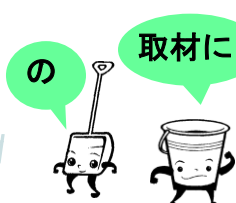
虫も  
さわれる  
よ!

代表の潮村さん



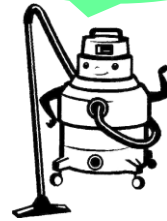
ゆきちゃんです♪

逗子は山も海も自然がいっぱい。  
自然の中で、季節の移ろいを感じておもしろ  
く遊んでいる子どもたちが大人になった時  
ここ逗子の自然をその時代のベストな形で残して  
いく発信をしてくれるだろうと願っています。



取材に

行ってきました!



## 「あそび発信基地」情報

活動日: 毎月第2・4水曜日 午後1時  
場所: 野外活動センター  
会費: 1か月 300円  
問合せ: 潮村 046-873-3286



最上級生は  
6年生のお兄ちゃん!

3

時過ぎになると小学生たちが、続々と  
やってきます。  
『おかえり!』お母さんたちの声が増  
えます。“この子どもたちは2歳児  
でも目を見てご挨拶できますよ。”  
お母さんの自慢の子どもたちです。



おにいちゃん  
大好き!

## どろけい! さおい鬼!



親も子も真剣!



小

さい子たちは、お兄ちゃん、お姉ちゃん  
たちから遊びを教してもらいます。0歳  
児から12歳までの子どもたちが、遊び  
やけんかなどを通じて、やさしさや、思  
いやりを感覚的に学んでいます。



赤ちゃんだって  
しっかり参加デス!

## 思い思いに...



ここでは、みんなが  
兄弟姉妹♪



みんな  
あつまれ~!



最高気温 32 度の日でも  
木陰がいっぱい!

## 「えほんをおくろうよ!」



桜山在住  
石渡ちか子

~被災した幼稚園や小学校へ~

3月11日、ミシッ!と何かが裂けるよ  
うな不気味な音...ワンコにリードをつけ  
てスリッパのまんま目の前の青空駐車場  
へ逃げ出しへたり込んで...

それから毎日、心も体も揺れ続けました。TVでは津  
波の被害の凄まじさを垂れ流し、見るほどに胸をかきむ  
しられる思いでもらい泣きするばかり。

「何か出来ないだろうか...」そう思って、考えつ  
いたのが「えほんをおくろうよ!」でした。誰に頼まれた  
わけでもなくて、送り先さえ決まっておらず、果たして  
コレが救いになるのだろうか?などと、悩んだりもしま  
した。が、エイヤッ!と見切り発車。

「集まるだろうか?」の不安を払拭してくださった  
のは、初日朝一番に見えた近所のお母さんの  
一言でした。「私も何かしたかったので、  
絵本を用意して待ってました!」...感涙。

そんな沢山の優しい気持ちをえほんにのせて、逗子  
から青森の団体へ17箱、贈る事が出来ました。会場の市  
民交流センターの職員のみな様の暖かな応援、3日間の  
受付をかわるがわる手伝ってくれた友人知人、小さいお  
子様と一緒に来てくださったお父さんやお母さん、読み  
聞かせの本を100冊も持ってきてくださった老齢のご  
夫妻、プールの帰りに寄ってメッセージを書いてくれた  
子どもたち、本当にありがとうございました。これから  
も“小さな被災地支援の活動”を続けて行こう!と心に  
誓ったのでした。 <http://wa401tohok.exblog.jp>

今年の夏  
「子どもフェスティバルから  
元気を発信しよう!



## 第6回 子どもフェスティバル

8月4日(木)~7日(日)

この日を忘れないでね~

世代を超えて  
いっしょに遊ぼう!

くわしくはチラシをみてね♪

逗子文化フラガ

交流センターは、節電のため、午後9時に閉館しています。(9月30日(金)まで)